【授業科目】在宅看護学特論Ⅱ(在宅看護活動の専門性)　Advanced Home Health Nursing Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
多次 淳一郎	1年次 後　期	選　択	2	３０	講　義	巻末 掲載

授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	在宅看護の様々な実践の場（訪問看護、通所サービス、地域包括支援センター）での看護職の専門性、質の保証に向けた管理の方略について学ぶ。履修者の関心に基づき、実践の場を１つ選択し先行研究等を調べ、プレゼンテーションと討議を通じて、在宅看護の専門性と質向上に向けた方略について考察する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて講義中に公開する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①、③、④の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	1. 在宅看護の様々な実践の場について、そこでの看護実践の特徴、課題について理解できる。 2. 在宅看護の質保証に関する理論や方略について理解できる。 3. 在宅看護の実践の場を１つ選択し、既知の知見を整理し、プレゼンテーションできる。 4. プレゼンテーションでの討議をふまえ、在宅看護の質向上に向けた方略を検討できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	（全回共通）事前に配布される資料を通読し、疑問・意見等を整理しておく。(各 60 分) （プレゼンテーション）文献検索、教員との事前確認、資料作成、および発表後の資料修正の過程に必要な時間を自律的に配分し、準備する。合わせて他の院生の資料は事前に読み、疑問・意見を整理する。 （レポート課題）プレゼンテーション事例について、討議をふまえ必要な文献検討を加え、レポートを作成する。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習 1 時間／1 回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第 1 回　コースオリエンテーション　在宅看護の実践の場の概略 第 2 回　在宅看護の基盤となる理念と理論 第 3 回　在宅看護の実践における専門性①　状態観察の視点 第 4 回　在宅看護の実践における専門性②　自立支援の視点 第 5 回　在宅看護の実践における専門性③　自律支援の視点 第 6 回　在宅看護の実践における専門性④　家族支援の視点 第 7 回　在宅看護の実践における専門性⑤　医療管理・安全管理の視点 第 8 回　在宅看護管理①　在宅看護の質の測定と質向上のための方略 第 9 回　在宅看護管理②　人材の確保と育成 第 10 回　在宅看護管理③　組織運営・経営 第 11 回　在宅看護管理④　危機管理（災害、感染症等） 第 12 回　プレゼンテーションと討議① 第 13 回　プレゼンテーションと討議② 第 14 回　プレゼンテーションと討議③ 第 15 回　在宅看護学研究の意義と展望
	全て 多次
評価方法 評価基準	授業への参加状況（30%） プレゼンテーション（40%） レポート（30%）

教科書	なし	参考書等	適時紹介する